

# 教えることが自分の学びに 立教日本語教室



外国人の多い豊島区において地域に住む日本語学習の機会を持たない外国人に学習の場を提供。  
異文化の1-4年+院生で運営し、学部内の縦の繋がりを生んでいる。

学生が  
つくる教室

## 代表を中心とした係制

参加する学生全員が何らかの係として活動  
それぞれが教室に対する責任を持って取り組み、  
半年に一度の総会で全体・先生方に情報を共有

## トラブルへの対応

学習者のレベルの多様化により受け入れきれない層が発生。  
改めて活動の意図を振り返り、レベルの限定「卒業制度」の導入により対応

## それぞれの 学び

日本語教師としての将来のキャリアを見据えて、日本語教師養成講座で学んだことを実際の学習者相手に実践したい。生の教育現場を体験したい。

授業では学ばなかった教えるうえでの難しさやコツを掴むことができた。教える側としての自信・イメージが付き、回数を重ねるうちに活動の進め方が身についてきた。

自分が留学時に言語で困ったという経験から、日本語を勉強したいという学習者を助けたいと思った。

予想以上のやりがいを感じて楽しく教えられている。  
学習者の学ぶ姿勢に自分の学習に対するモチベーションを上げられる。日本や世界についての学びがある。

## 活動を通じた成長

日本語教育の授業で学んだことを実際の在日外国人の方を相手に実践できるため、まさに今必要とされている日本語教育のあり方を考えられる。  
また、日本語教員としてのキャリアはもちろん、ボランティア全員が関わっている運営での経験や、人に何かを教えるという行為を通して将来自分がどのように社会で作用していくのかを考えられる。

Facebook  
「立教 異文化  
地域連携」で  
検索♪!

活動の様子や  
お知らせを配信!



学習者に合わせた  
教室案内を用意!

来校者向け  
チラシ  
(日・英・中)